

第36回 連携会議記録

日時

2012/9/25 14:35～

会場

石狩市総合保健福祉センターりんくる301号

参加者数

21/25

会議の記録

<経過報告>

「学力向上に関する総合実践事業」に関して、市内より出席の3名から感想など報告があった。

協議題については、二次集会レポートとの関わりで、協議題2を先に扱った。

<協議題2>北見市との連携による保護者負担状況データ作成について

事務局の提案に対し、出席者から、「管内の他市町村との連携を超えて、他管内の北見市との連携をすすめる理由が明確になっていないのではないか」、「同じ管内の方が比較や論議がしやすいのではないか」、「このとりくみの成果などの目途が十分に見えない中で、具体的に連携する自治体名を示すのは時期尚早ではないか」等の意見が出された。事務局からは、北見市を相手と考える理由は提案中に明確になっていること、成果や結果が十分に想定されないとしても、積極的にとりくまなければ前に進まない状況もあること、保護負担調査の意義とねらいは市費負担の公費化であることはこれまでも論議し節目毎に確認をしてきており、端的に予算増額に結びつかないことが多いが、将来を見据えてとりくみをすすめるべきではないこと、などの説明を行った。参加者からは、積極的にすすめる立場とさらに十分な論議を求める立場で意見が出された。

論議の結果、北見市の活動状況について資料の学習などもう少し時間をかけて研究をすすめること、また、管内各市町村との連携も模索すること、提案自体は確認をし、さらに北見市との全般的な交流をすすめる中で、保護者負担調査に関するより具体的プランのイメージづくりを模索すること、以上のことから、二次集会のレポートにおいてはこの提案については取り扱わないこととする、の3点を確認した。

<協議題1>石教研二次集会レポートについて

9月20日の研究グループ会議で作成したレポート案について、協議題2の確認事項により一部削除して研究グループより提案どおり確認された。なお、議長より「未納金の処理について二次集会での質問が想定されるが、先の全道事務研においても参加者から質問があり、具体的処理方法の検討までには石狩市として至っていないことを回答した。」旨確認があった。事務局からは「備品費の学校配分」の課題については、全道事務研レポート七飯町のとりくみを紹介し、二次集会で他市町村との交流をすすめるようお願いをした。また、レポートの帳合いについては、研究グループより帳合い日程ついて連絡することを確認した。